平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月８日

上 場 会 社 名　　株式会社リーガルコーポレーション　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7938　　URL http://www.regal.co.jp
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 岩崎　幸次郎
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役　管理本部長　(氏名) 安田　直人　　(TEL) 047-304-7084

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月14日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	16,974	0.0	1,044	1.1	1,208	△11.4	606	△35.9
25年３月期第２四半期	16,970	4.7	1,032	30.0	1,364	59.7	945	106.0

(注) 包括利益 26年３月期第２四半期　702百万円(△23.7%) 25年３月期第２四半期　920百万円(52.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	20.05	19.94
25年３月期第２四半期	31.64	31.48

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	29,988	12,914	42.7
25年３月期	30,126	12,275	40.4

(参考) 自己資本 26年３月期第２四半期　12,810百万円　　25年３月期　12,185百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	5.00	5.00
26年３月期	－	0.00			
26年３月期(予想)			－	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,800	1.8	2,350	△3.6	2,450	△12.3	1,350	△36.3	44.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	32,500,000株	25年３月期	32,500,000株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	2,001,649株	25年３月期	2,618,127株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	30,233,008株	25年３月期２Ｑ	29,885,240株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ（３）「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……１０
(継続企業の前提に関する注記) ……１０
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……１０
(セグメント情報等) ……１１

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策などを背景として円安・株高が進行し、緩やかな景気回復傾向が見られました。しかしながら、実体経済の回復は限定的で、消費増税問題や原油高による光熱費の負担増、雇用・所得環境はいまだに厳しい状況が続くなど、先行きは依然として不透明な状況となっております。

靴業界におきましては、新たな異業種の参入や通販、ネット販売の増加などにより競争が激化している状況のなか、個人消費につきましては景気回復の期待感もあり、品質や付加価値の高い商品や値ごろ感のあるカジュアルシューズが売上を伸ばしました。一方で、世界的な原材料価格の高騰や円安による調達コストの上昇を踏まえ、特恵受益国への生産拠点のシフトや、商品価格の値上げなども一部で見られました。

このような環境のなか、当社グループは、ブランド特性に応じた販売チャネル別の営業体制の下で、店頭売上を重視した営業活動を展開し、主力である「リーガル」は、「信頼・信用」の代表ブランドとして競争力と付加価値の高い商品の開発・提案を行ってまいりました。また顧客ニーズに対応したカジュアル・コンフォート商品の開発強化や、店舗開発などに注力するとともに、販売施策による売上総利益率の改善にも取り組んでまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は16,974百万円(前年同四半期比0.0％増)、営業利益は1,044百万円(前年同四半期比1.1％増)、経常利益は1,208百万円(前年同四半期比11.4％減)となりました。四半期純利益におきましては606百万円(前年同四半期比35.9％減)の計上となりました。

なお、平成25年５月13日に公表いたしました「株式会社ニッピとの資本関係等の一部変更に関するお知らせ」の通り、当社は株式会社ニッピとの社外取締役の相互兼任を解消いたしましたが、共同出資会社の処理など、今後引き続き協議を進めてまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①靴小売事業

靴小売事業では、店舗業態ごとの販促企画や顧客ニーズの変化に対応した店舗改装の実施、またカジュアル・コンフォート商品や高付加価値ビジネスシューズの品揃えを充実させるなどの各種施策により売上の拡大に努めました。

ブランド・業態別では、「シューズストリート（ネット通販）」、「シェットランドフォックス店」が堅調に推移いたしました。しかしながら「リーガルシューズ店」、「ナチュラライザーショップ」、「アウトレット店」におきましては、例年９月中に実施していた秋の販促キャンペーンを季節商材の需要期に合わせ、９月中旬から第３四半期の10月初旬までに開催時期を変更した影響等もあり、靴小売事業全体では前年売上実績を下回る結果となりました。

新たな取組みとしましては、当社ホームページ内に主力ブランドである「リーガル」のブランドサイトを新規に立上げるとともに、ＳＮＳのFacebookに参画するなど、eコマースのみならずネット環境におけるコンタクトポイントの整備を行い、新たな顧客獲得施策を展開いたしました。

当第２四半期連結累計期間の店舗施策につきましては、リーガルシューズa.k.a.イオンモールむさし村山店など計２店舗を新規で出店し、リーガルシューズ藤沢店など計２店舗を移転改装するとともに、不採算店舗６店舗を閉店するなど、店舗運営の効率化を図りました。（直営小売店の店舗数130店舗、前年同四半期末比４店舗減）

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は7,794百万円（前年同四半期比3.9％減）、営業利益は300百万円（前年同四半期比33.8％減）となりました。

②靴卸売事業

靴卸売事業では、店頭売上を重視した営業活動を推進し、顧客ニーズに対応した競争力と付加価値の高い商品提案に注力するとともに、業態ごとのオリジナルアイテムの開発や売場提案を行い、取引先に対し当社商品による囲い込み施策等を展開いたしました。

紳士靴は、主力ブランドである「リーガル」を中心に、値ごろ感のある「ケンフォード」のビジネスシューズが好調に推移いたしました。特に７月から販売を開始した新機能「エアローテーションシステム」搭載の商品についての評価が高く、順調に市場に浸透し始めております。

また履き心地を重視した「リーガルウォーカー」につきましては、新たにサンダルやアウトドア・コンフォート等、対象顧客のライフスタイルや生活シーンを想定した新しいカテゴリーの商品提案等を行い、売上増加に貢献いたしました。

婦人靴は、春先からの天候不順の影響で店頭でのサンダルの動向が例年に比べ遅れましたが、紳士靴同様に「リーガルウォーカー」は、「軽さと履きよさ」が顧客に支持を受け認知度が高まり、百貨店を中心に取扱い店舗数が順調に増加し、大きく売上を伸ばしました。また、百貨店婦人靴売場への新しい売場提案施策である「マホガニーチェスト」を新たに２店舗で展開し、計８店舗となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は9,069百万円（前年同四半期比4.0％増）、営業利益は695百万円（前年同四半期比44.8％増）となりました。

③その他

不動産賃貸料の収入など、その他事業の当第２四半期連結累計期間の売上高は183百万円（前年同四半期比12.7％減）、営業利益は34百万円（前年同四半期比64.2％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、29,988百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少893百万円、投資有価証券の減少432百万円、商品及び製品の増加838百万円などによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における負債は、17,074百万円となり、前連結会計年度末に比べ776百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少402百万円、長期借入金の減少203百万円などによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、12,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ638百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加447百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第２四半期累計期間につきましては、売上高は前回予想を下回ったものの、利益面では、人件費や販促費などのコスト削減に加え、デリバティブ評価損が90百万円減少したこともあり、営業利益、経常利益、四半期純利益はそれぞれ前回予想を上回ることとなりました。

通期見通しにつきましては、為替相場や原材料価格の動向が先行き不透明な状況であることなどから、平成25年８月２日公表の予想数値を据え置くこととしております。

詳細につきましては、本日（平成25年11月８日）別途開示いたします「平成26年３月期第２四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,268	3,234
受取手形及び売掛金	6,397	5,503
商品及び製品	5,973	6,812
仕掛品	217	236
原材料及び貯蔵品	535	591
その他	1,387	1,871
貸倒引当金	△296	△296
流動資産合計	17,483	17,953
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,290	2,290
その他（純額）	2,297	2,271
有形固定資産合計	4,588	4,562
無形固定資産		
のれん	19	5
電話加入権	25	25
ソフトウエア	13	8
その他	1	1
無形固定資産合計	60	40
投資その他の資産		
投資有価証券	5,304	4,872
敷金及び保証金	1,417	1,371
その他	1,475	1,391
貸倒引当金	△202	△202
投資その他の資産合計	7,994	7,432
固定資産合計	12,643	12,035
資産合計	30,126	29,988

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,971	4,110
短期借入金	4,466	4,421
未払法人税等	857	454
賞与引当金	498	498
役員賞与引当金	31	―
ポイント引当金	437	449
店舗閉鎖損失引当金	1	3
移転関連損失引当金	―	221
その他	1,746	1,629
流動負債合計	12,010	11,788
固定負債		
長期借入金	994	790
退職給付引当金	3,163	3,087
移転関連損失引当金	221	―
資産除去債務	190	189
その他	1,270	1,218
固定負債合計	5,840	5,285
負債合計	17,850	17,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,355	5,355
資本剰余金	690	731
利益剰余金	5,613	6,061
自己株式	△418	△335
株主資本合計	11,241	11,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338	383
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	611	582
為替換算調整勘定	△6	32
その他の包括利益累計額合計	944	998
新株予約権	30	29
少数株主持分	59	74
純資産合計	12,275	12,914
負債純資産合計	30,126	29,988

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	16,970	16,974
売上原価	9,093	9,069
売上総利益	7,877	7,905
販売費及び一般管理費	6,844	6,860
営業利益	1,032	1,044
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	12	13
持分法による投資利益	340	114
雑収入	74	91
営業外収益合計	434	227
営業外費用		
支払利息	54	37
売上割引	17	20
雑支出	30	3
営業外費用合計	102	62
経常利益	1,364	1,208
特別利益		
投資有価証券売却益	－	2
特別利益合計	－	2
特別損失		
固定資産除却損	8	14
デリバティブ評価損	－	107
投資有価証券評価損	0	－
その他	0	－
特別損失合計	8	121
税金等調整前四半期純利益	1,356	1,089
法人税、住民税及び事業税	407	440
法人税等調整額	0	44
法人税等合計	407	484
少数株主損益調整前四半期純利益	948	605
少数株主利益又は少数株主損失（△）	3	△0
四半期純利益	945	606

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	948	605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	26
為替換算調整勘定	△5	50
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	20
その他の包括利益合計	△28	97
四半期包括利益	920	702
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	915	691
少数株主に係る四半期包括利益	4	10

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,356	1,089
減価償却費	158	148
のれん償却額	14	14
賞与引当金の増減額（△は減少）	49	△0
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△17	△31
ポイント引当金の増減額（△は減少）	31	11
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	7	1
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△23	△76
受取利息及び受取配当金	△19	△21
支払利息	54	37
持分法による投資損益（△は益）	△340	△114
有形固定資産除却損	8	14
投資有価証券評価損益（△は益）	0	―
投資有価証券売却損益（△は益）	0	△2
デリバティブ評価損益（△は益）	△26	107
売上債権の増減額（△は増加）	503	908
たな卸資産の増減額（△は増加）	△614	△883
仕入債務の増減額（△は減少）	△309	28
未払消費税等の増減額（△は減少）	△128	△46
その他	△151	△244
小計	552	941
利息及び配当金の受取額	42	50
利息の支払額	△53	△37
法人税等の支払額	△192	△827
営業活動によるキャッシュ・フロー	349	126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39	△18
定期預金の払戻による収入	―	29
有形固定資産の取得による支出	△94	△45
投資有価証券の取得による支出	△9	△8
投資有価証券の売却による収入	0	678
貸付金の回収による収入	6	3
貸付けによる支出	△4	△13
差入保証金の差入による支出	―	△378
その他	10	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129	295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△400	10
長期借入金の返済による支出	△324	△258
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△94	△155
少数株主への配当金の支払額	△6	△3
リース債務の返済による支出	△7	△8
その他	△70	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△904	△487
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	29
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△685	△36
現金及び現金同等物の期首残高	3,465	3,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,779	3,153

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日　至 平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,112	8,723	16,835	134	16,970	―	16,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	76	76	△76	―
計	8,112	8,723	16,835	210	17,046	△76	16,970
セグメント利益	453	480	934	96	1,030	2	1,032

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日　至 平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,794	9,069	16,863	110	16,974	―	16,974
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	73	73	△73	―
計	7,794	9,069	16,863	183	17,047	△73	16,974
セグメント利益	300	695	995	34	1,030	13	1,044

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。